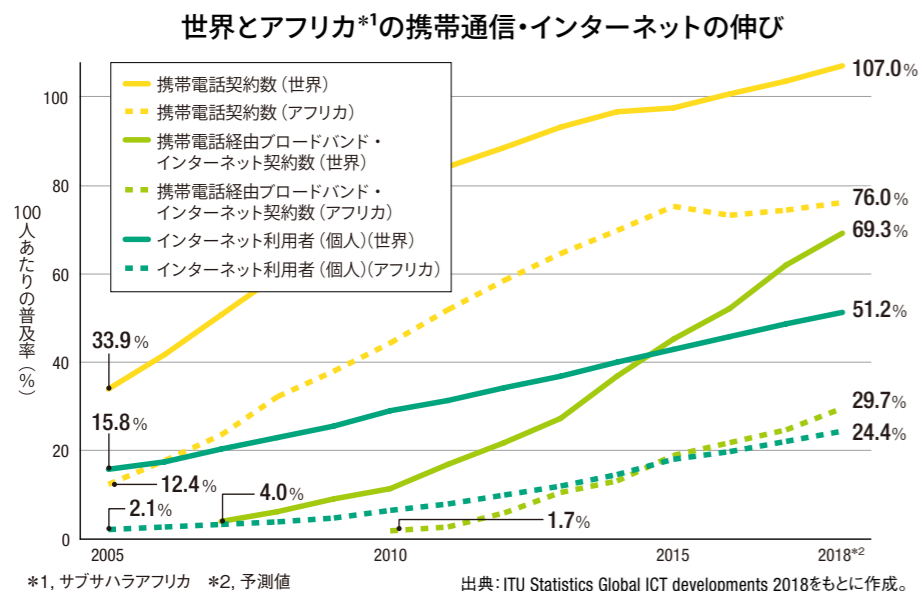


アフリカの 今を知る

デジタルツールの普及が急激に進むアフリカ。
科学技術を用いたイノベーションによって、
リープフロッグを実現する環境が
着々と整ってきている。

世界は ICTの時代へ

2000年以降、携帯電話契約数や携帯電話経由によるブロードバンド・インターネット契約数が大きく伸びた。携帯電話契約数はすでに世界人口の総数を上回り、05年から18年の間に約3倍(約34%→107%)になった。このうちアフリカだけの数値を抽出してみると、同期間に約6倍(約12%→76%)に増加している。近年、ICTが人々のコミュニケーションを変容させたことから、ICTを上手に活用した開発が、さらなるイノベーションと経済発展を生むと期待されている。



キーワード

ICT
情報通信技術 (Information and Communication Technology) の略。以前は、アナログ情報をデジタル化する技術やデータ通信に関する技術をIT(情報技術)と総称していたが、インターネットの発達によってITを通じた双方向・多方向のコミュニケーションがネットワークとして一般的になったことから生まれた言葉。2000年代中盤頃から使われ始めた。

リープフロッグ
「かえる跳び」の意。過去の慣習にとらわれずに、さまざまな知恵や技術の組み合わせによって生まれ得るイノベーションを有効活用しながら、必要なルールの見直しなどを加えることで、過去に他国が経験してきた発展の順序を必ずしも必ずしも一足飛びに発展すること。

STI
科学技術イノベーション (Science, Technology and Innovation) の略。科学や技術の力を活用したイノベーションの総称。ICTを活用したイノベーションもこの一つに属する。

テックハブ
特定のビジネスに特化した企業や投資家が集まる拠点のこと。共同で作業を行うスペース、モノ作りの工作機械を備えたスペース、インキュベーション施設なども含めて、オープンな起業家・研究者・実務家向けの共同作業環境を総称してテックハブと呼ぶことが多い。似たような志を持つ人が集まり、技術協力や情報共有などが活発に行われるため、イノベーションにつながる新たな試みが生まれやすい。

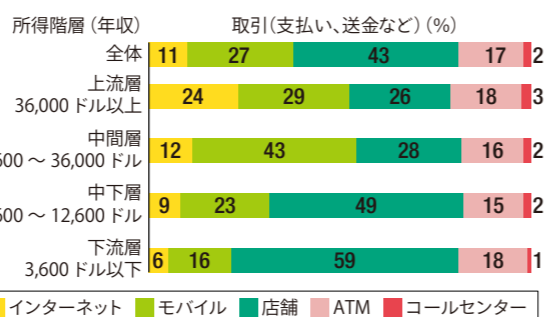
デジタル・ネイティブ
インターネットやパソコンが普及した時期に幼少期を過ごし、ICTによく親しんでいる世代という意味で使われる。日本では1990年代以降に生まれた人たちのことを指す。

インキュベーション
新規事業の育成や起業を支えながら育てること。インキュベーション本来の意味は、たまごの孵化。

今後もデジタルツールが新市場を創り出す

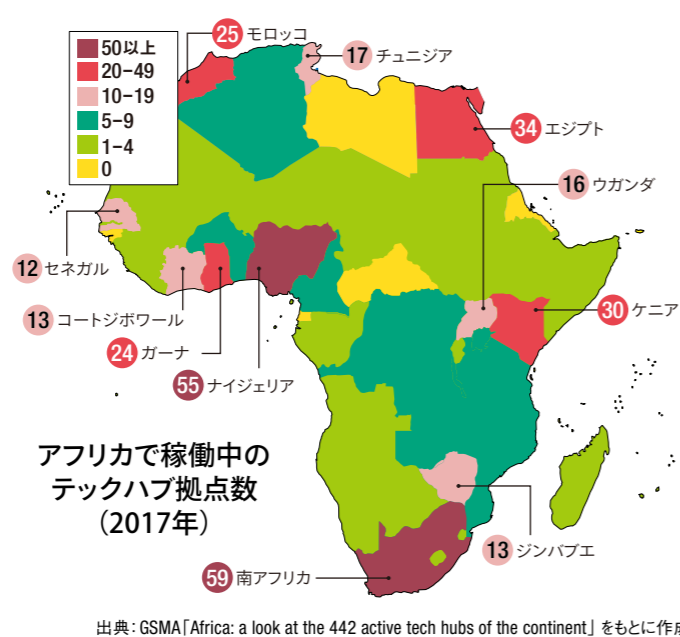
アフリカ各国の金融サービス利用者を実施したアンケートで、金融取引にパソコンまたはモバイルを好むと回答した人は約4割に上った。所得別では中間層、上流層が多く、この層に向けた電子商取引(EC)は今後大きく開花する可能性がある。2012年にいち早くサブサハラ・アフリカ地域でオンラインショッピングサービスを始めた「Jumia」は、いまや月間1,500万人の訪問ユーザー(うち79%は携帯電話からアクセス)を獲得する急成長企業となっている。

アフリカにおける金融サービスに関するデジタルツール利用趣向の所得階層別アンケート(2018年)



人が集まり、資金も集まる

アフリカ全域の稼働中のテックハブは、2018年3月の時点で442拠点。2016年の314拠点から約1.5倍に増加している。テックハブが急増している背景には、アフリカ各国政府がスタートアップ支援に力を入れていることや、アフリカ地域で投資や事業展開をしたい外国の企業や団体が現地とつながる場を求めていることが挙げられる。

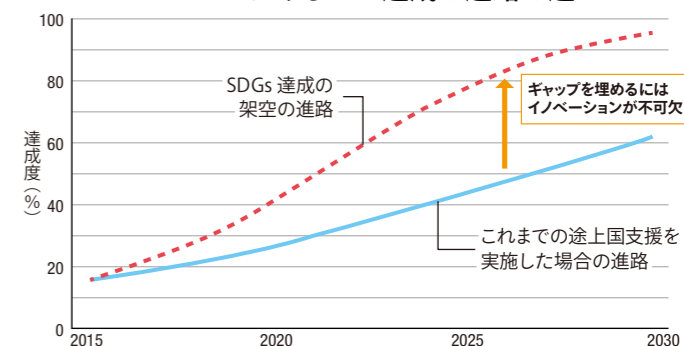


スタートアップ
創業して間もない企業。日本ではベンチャーという呼称が一般的だったが、ここ数年の起業ブームで最近の20～30代(特に大学生)にとってはスタートアップのほうがイメージを描きやすいと言われる。新しいビジネスを起こして成長し、市場を開拓しようとする段階の企業や事業を表す。

ケニアの携帯電話の世帯普及速度はアメリカをはるかにしのぐ

世界第1位の経済大国アメリカで携帯電話を持つ世帯の割合は、20年かけて約70%まで上昇した。これに対してアフリカのケニアは、わずか7年でアメリカに追いついている。また、ケニアで2007年に生まれたモバイル送金サービス「M-PESA」(エムベサ)は、わずか4年で約80%の世帯に利用され、取引額はGDPの50%にも達した(貨幣流通量ベース)。ICTを活用したイノベーションが活発な経済活動を牽引している。

SDGsにおけるUHC達成の進路の違い



*すべての人々が、十分な質の保健医療サービスを、必要な時に、負担可能な費用で受けられるようにすること。SDGsのゴール3「すべての人に健康と福祉を」に関わる。
出典: Ericsson et al. 「ICT&SDGs」(2016)をもとに作成。

携帯電話とM-PESAの普及速度

